大会報告

天然芝のテレインを直進

第 24 回長野県大会 2009 年 4 月 26 日 長野県上田市菅平高原

木村佳司

いい地図、いいテレインがあればあとは天国へ Go！

2009 年 4 月 26 日 長野県菅平高原
第 24 回長野県オリエンテーリング大会

M-long 8.7km↑450m

1	平井 均	1:00:04	
2	源後知行	1:01:47	ぞんび～ず
3	多田宗弘	1:02:57	多摩 OL

M-middle 7km↑310m

1	大牧勇人	0:50:13	名大 OLC
2	青井 翔	0:51:57	金沢大 OLC
3	尾崎高志	0:52:19	Team 白樺

M40 7km↑310m

1	菅原 琢	0:48:09	多摩 OL
2	田代雅之	0:51:28	
3	清水善博	0:52:36	山梨骨骨クラブ

M-short 3.6km↑150m

1	鈴木健夫	0:35:39	関ブロ会議
2	土井洋平	0:37:41	群馬県太田市
3	山口征矢	0:40:08	関ブロ会議

W-long 7km↑310m

1	田島利佳	0:56:45	みちの会
2	森澤寿理	1:00:48	ぞんび～ず
3	横澤夕香	1:02:47	ES 関東 C

W-short 3.6km↑150m

1	大場節子	0:41:19	サン・スーシ
2	白鳥智子	0:46:42	山梨骨骨クラブ

高速テレイン

菅平高原が最もオリエンテーリングに適しているのは実は 4 月である。高原の雪が消えたばかりのスキー場や牧場は視界良好。足場は天然芝のような感触。走りを妨げるものは何もない。

そんなテレインだからこそか、男子ロングコースでは直線距離 8700m 登坂 450m にも関わらず、あわや 60 分切りのタイムが出るところだった。それだけ走りやすいテレイン状況だった。

そのいっぽう視界があまりに良いために技術的難易度は低くなった。もともとコースコンセプトは「ロング競技」。技術的難易度よりもルート戦略や体力を問うコンセプトだ。

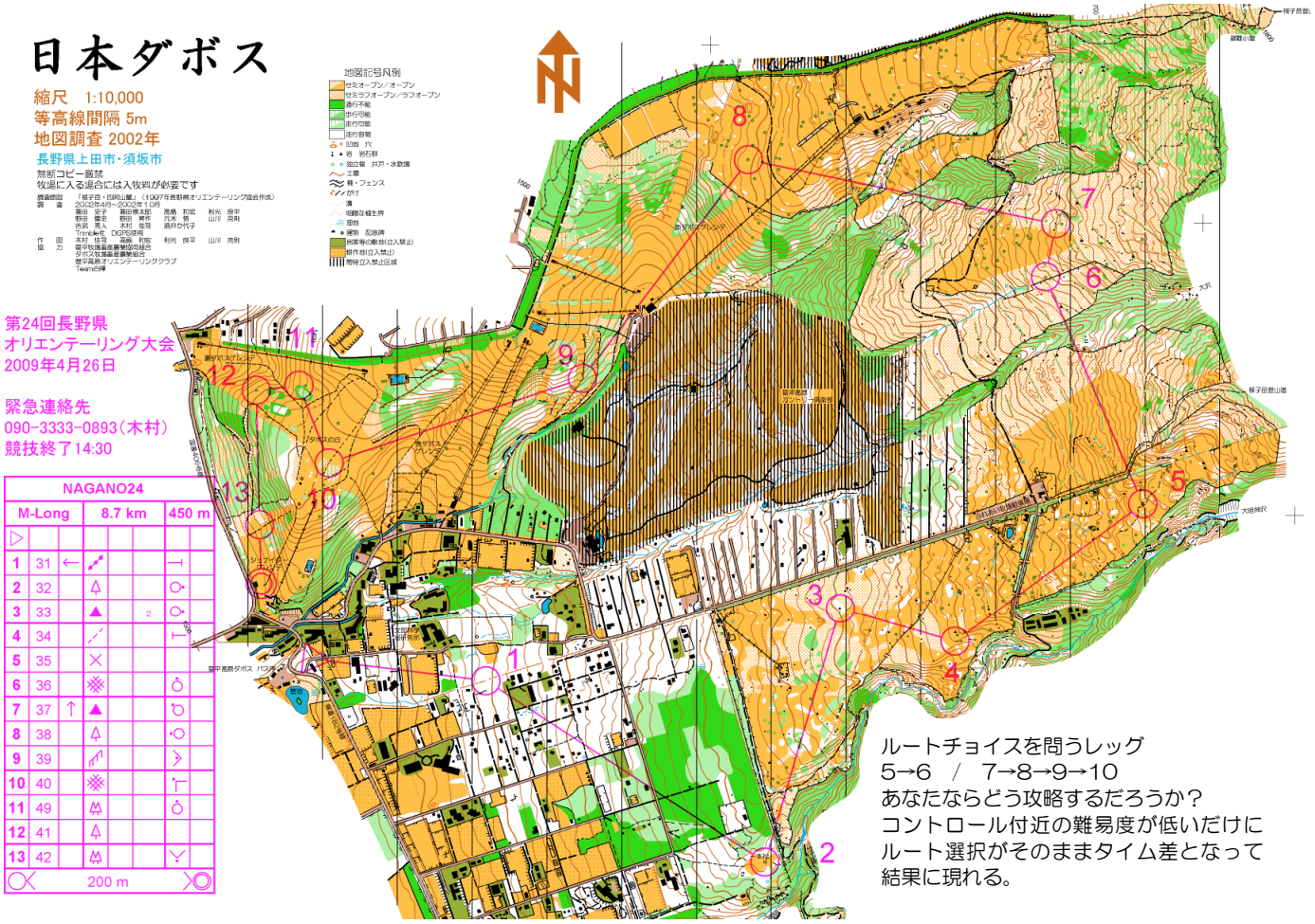
だがあまりの高速レースのため「ロング」とは言えないウイニングタイムになってしまった。

女子優勝・田島利佳（左）、男子優勝・平井均（右）。信州高原の雪室から堀りおこしたばかりの雪中埋蔵酒（期間限定）が賞品。

少人数で手軽に運営

今回はお手軽小規模運営のイベント。だが気の緩みか、地図印刷で縮尺表示を間違えるというミスも出て競技者には迷惑かけてしまった。

（木村佳司）



ルートチョイスを問うレッグ
5→6 / 7→8→9→10
あなたならどう攻略するだろうか？
コントロール付近の難易度が低いだけにルート選択がそのままタイム差となって結果に現れる。